

日本秘書学会広報委員会

札幌市豊平区清田4条1丁目4番1号004

静修短期大学内

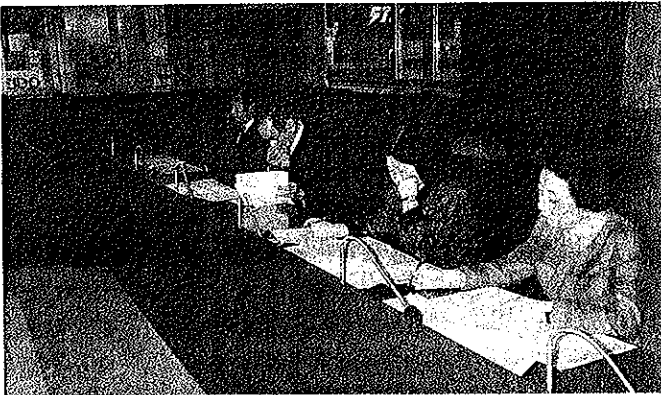
☎(011)883-2490 FAX(011)883-1864

／ 特集 ／ 平成6年度 ブロック研究会活動報告

お見舞い

この度の阪神大震災により被害を受けられた会員の皆様には心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

北海道ブロック



1. ブロックの運営動向

本年度は、昨年設置したグループ組織による研究活動がスタートし、5月には第13回研究大会（東京）に向けての秘書理論グループによるブロック分担提言の事前研究協議がもたれた。また、11月のブロック研究会では第14回研究大会（松山）のブロック分担提言の研究推進の手順について協議をし、そこでは各会員の協力を得て昨年に引き続き秘書理論グループが取りまとめて行くことにした。

なお、ブロック研究会の在り方についても協議し、①実質的な研修の場②社会的期待に応える研究推進の場とする他③情報ネットワークによるサービスを行うこと、などを確認し、取り組むことにした。

2. ブロック研究会活動報告

(1) 第18回研究会の開催

期 日：平成6年3月12日（土）

会 場：静修短期大学

司 会：北崎 寛先生

出席者：16名

1 白川リーダーの開会挨拶

2 研究発表

①「ビジネス用文例の漢字の使用について」

乳井 克憲（静修短期大学）

②「秘書行動の環境適応の理論に関する試論」

浅川 修二（北海道文教短期大学）

3 特別報告

「各ブロックの活動状況報告」

来札中の田中、森貞、吉田、緒方各氏から、各ブロックの活動状況を報告していただいた。

4 研究協議

「全国大会のブロック分担提言

—— 秘書能力開発の考え方 ——」

(2) 第19回研究会の開催

期 日：平成6年11月19日（土）

会 場：道民活動センター「かでの2・7」

司 会：乳井克憲先生

出席者：14名

1 白川リーダーの開会挨拶

2 各務報告、監事の選任（能登洋子氏）、ブロック研究会の もち方について

3 研究発表（報告）

「海外研修で出会った女性の印象 —— ラサール・カレッジに
みる秘書教育の一例との関連から ——」

中川 昌代（道都大学短期大学部）

4 研究協議

① 平成7年度研究大会のブロック分担提言の取り組みに ついて

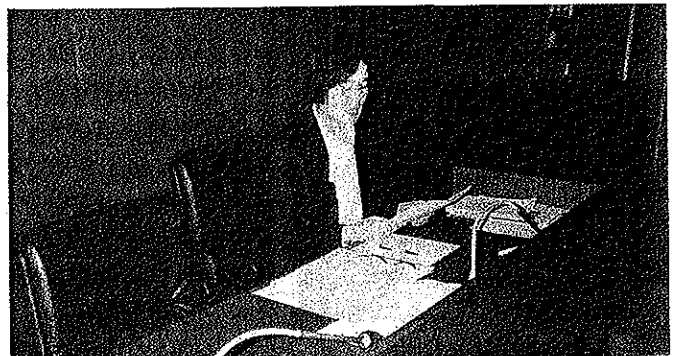
1 平成7年度第14回研究大会の統一論題「秘書の能力 開発の新しい課題」

2 分科会テーマ（北海道ブロック担当）「能力開発の可 能性とは —— 秘書教育の現場から ——」

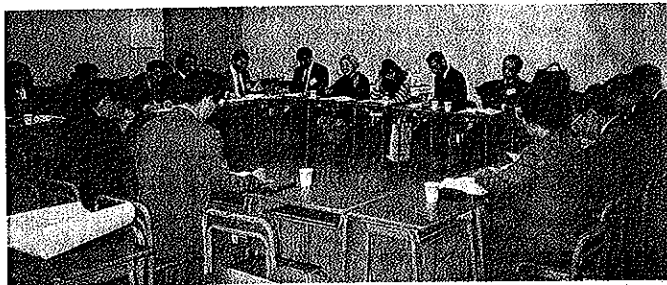
3 ブロックからの提言の取り組みについて

② 理論・実務教育各グループの今後の取り組みについて

（渡辺一郎 記）



関東・東北ブロック



1. ブロックの運営動向

平成6年度からは、ブロック研究会をつぎのように進めてゆくことを決めた。

ひとつは、次回の大会テーマに基づいてグループ討議を行い、全国大会に問題提起をする。もうひとつは多くの会員からテーマを決めずに自由に発表してもらうことにした。

別紙記載の2名の新委員（田辺稔・三村善美両先生）が加わり、研究活動の活性化を期することにした。

2. ブロック研究会活動報告

(1) 第18回研究会

平成6年1月29日（土）東京工芸大学女子短期大学部を会場に85名の会員が参加して開催された。研究発表に先立ち、東京工芸大学の柳谷次男先生に「写真の魅力とコミュニケーション」と題して講演していただいた。

〈研究発表〉

〔秘書理論研究〕産能短期大学の池内健治先生が「秘書と能力開発」と題して、職場における能力開発、学生教育に限定せず広く秘書の能力開発のあり方を発表された。

〔秘書教育研究〕東京工芸大学女子短期大学部の永田照子先生が「コミュニケーションと人間関係」と題して、好ましい人間関係を保つためにコミュニケーションをするうえで何が問題となるか、ことば遣いに関するアンケート調査の結果と国語表現の授業を紹介しながら発表された。

その後、「秘書能力開発」「コミュニケーションと人間関係」「秘書教育におけることばの指導（Ⅳ）」「秘書教育の技法」にわかれてグループ討議が行われた。

(2) 第19回研究会

平成6年10月1日（土）川口短期大学を会場に98名の会員が参加して開催された。研究発表に先立ち行革国民会議事務局長の並河信乃氏に「土光臨調会長秘書として試みたこと」と題して講演していただいた。

〔研究発表〕今回から新しい試みとして、5会場で14の研究発表を行った。研究発表は以下の通りである。

高橋光男先生（聖徳大学短期大学部）

「秘書と補佐役との補佐概念

——補佐概念から見た秘書の本質・役割・機能・権限——」

菊川長徳先生（国土館短期大学）

「秘書行為度と企業経営の関係」

牛島光恵先生（産能短期大学）

「女性先駆者にみるキャリア形成」

田辺稔先生（福島女子短期大学）

「秘書科における情報処理教育——大学等における一般情報教育の在り方を踏まえて——」

小池澄男先生（東京家政学院短期大学）

「日本の大企業における秘書の現状と問題点——上場企業アンケート調査に基づく調査分析——」

北垣日出子先生（日本橋女学館短期大学）

「秘書職に求められるコミュニケーション技法」

篠崎一郎先生（法政大学）

「言語運用能力：言語学的基础付け」

大宮智江先生（高崎商科短期大学）

「女性労働の現状とキャリア」

植竹由美子先生（仙台白百合短期大学）

「アメリカのリーガルセクレタリー」

四之宮玲子先生（文理情報短期大学）

「秘書の資質特性の変化に関する因子分析」

狩野一久先生（東京工芸大学女子短期大学部）

「秘書職における会計素養」

馬越道子先生（湘北短期大学）

「キャリア30年、職場から教育の現場に直行した秘書が見たこと感じたこと」

三村善美先生（東京経営短期大学）

「秘書教育におけるプレゼンテーション技法の活用」

大橋進一郎先生（城

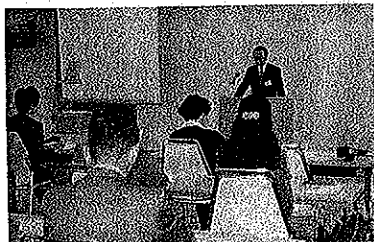
西大学女子短期大学部）

「秘書と代理行動」

（堀真由美 記）



中部〈東海・北陸〉ブロック



【ブロック合同研究会】

1) 運営委員会を1994年11月5日（土）午後0時より、開催し、研究会の計画、運営方針、次回開催時期、会報などの案件について協議した。

2) 東海・北陸分会合同のブロック研究会は、同日午後0時

50分より金沢市のラポート兼六で、25名の会員が参加して開催された。

研究会は、まずブロック・リーダーの吉田寛治先生（金沢女子短期大学）より開催の挨拶があり、併せて研究会の計画や運営方針などの報告があった。

続いて行われた研究会は、北潟克輔先生（金城短期大学）の司会で、次の5つの研究発表がなされた。

① 「秘書のパーソナリティに関する一考察

— 秘書学概論とのかかわりについて —

國田千恵子先生（金沢女子短期大学）

② 「富山県の女性の秘書的業務についての調査」

澤本正己先生・金岡トモコ先生・深井康子先生・安宅詔子先生（富山女子短期大学）

③ 「エンドユーザーコンピューティングの進展と秘書情報教育」

戸田昭直先生（静岡県立情報処理教育センター）

④ 「中国・宋代の『秘書』の一側面

— 翰林学士院について —

中村健壽（静岡県立大学短期大学部）

⑤ 「日本における礼の起源について」

柴山 正先生（名古屋女子大学短期大学部）

いずれも秘書の実態調査を踏まえた実証的研究、あるいは秘書学理論の確立や方法論に及ぶもの、歴史的側面からの考察など豊富な内容の研究発表であった。

各発表に対して、さらに詳細におよぶ問題や今後の課題など多くの質疑応答がなされた。

このような発表テーマの豊かさは、秘書学研究における問題関心の度合いと質の高まりを示唆するものであり、研究領域の広がりと共に成果の深化が実感される。将来的にさらに多方面からのアプローチが継続されることが期待される。

会はサブ・リーダーの島名正英先生（愛知女子短期大学）の挨拶で閉会した。

研究会終了後、会場を移して懇親会がもたれた。

当研究会始まって初めての本格的な料亭での懇親会であり、加賀料理の美しさと味とを堪能しつつ、会員相互の情報の交換や研究発表者との質疑応答など有意義な時間を過ごした。

（中村健壽 記）

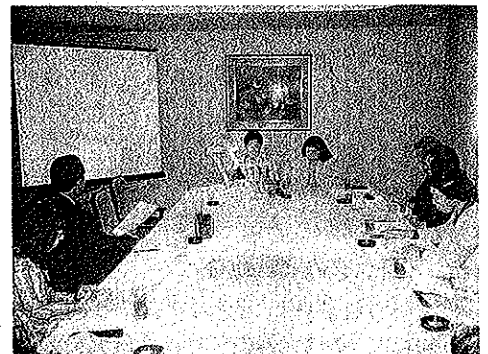
【北陸分会研究会】

北陸分会研究会は、1994年5月29日（日）午後1時から4時まで、金沢市の都ホテルを会場に開かれた。参加者は12名。

ブロック・リーダーの吉田寛治先生から挨拶と運営事務の確認があった後、研究発表に移った。

北陸学院短期大学の菱田陽子先生と富山コンピュータ専門学校野口喜美代先生が、「秘書実務における交流分析の応用——対話分析理論に基づく接遇対話の授業展開例——」と題して、授業展開の具体例をもとに接遇対話への理論的アプローチのための一方法である「対話分析理論」を提示した。研究方法に対して、理論の適用に関する方法論の問題から今後の課題まで活発な質疑応答が行われた。また、九州・沖縄ブロック田中友幸先生の特別参加もあり、充実した研究会となった。

（西川峰高 記）



近畿ブロック



第19回ブロック研究会

第19回ブロック研究会は、平成6年3月21日、54名の参加者を得て、大阪国際交流センターで宇都宮垂穂先生の総合司会で行いました。

はじめに、松蔭女子学院短大の田中篤子先生に「技術革新と秘書の課題」と題した問題提起をしていただきました。OAの進展が秘書にどう影響を与えるかについて検討され、秘書の四層構造も変化することを示唆されました。また一貫して変わらないものは文書起草能力を中心とする情報処理能力であると指摘されました。個人研究発表は5名でした。

神戸学院女子短大の小原将温先生は「秘書機能の独自性についての一考察」と題して、主として秘書機能の源泉論を中心に発表されました。仁平章子先生が賢明女子学院短大の4名の先生の共同研究「企業・卒業生アンケート調査報告その2——秘書教育の視点から——」を発表されました。企業と卒業生双方のアンケートをとっているところが特色です。



関西女学院短大の能勢照代先生は「短大卒女性社員のキャリア育成に関する研究」と題し、大学卒、専門学校卒の女性社員と比較した調査をもとに発表されました。関西商工サービスの宮崎春男先生は、「能力開発雑考」と題し、ご自分の体験をふまえて発表されました。甲子園短大の森本敦司先生は「司法書士補助者の研究」と題し、司法書士事務所の補助スタッフについて考察されました。ティータイムの後、2班にわかれて分科会を行いました。東京大会のブロックからの提言が、「能力開発」なので能力開発に焦点をしばって討論しました。

第20回ブロック研究会

第20回ブロック研究会は、平成6年10月8日、49名の参加者を得て、大阪国際交流センターで緒方真澄先生の総合司会で行いました。最初は総会で、福永ブロックリーダーの挨拶と平成5年度の活動報告と会計報告、それに武田寿子先生による監査報告が行われ、承認されました。

個人研究発表は4人で、松蔭女子学院短大の西原佐智子先生が、「秘書職の将来——ドイツの現状から——」と題して、ドイツの現状報告を主体に発表されました。大阪キリスト教短大の林雄太郎先生は、「1/Fノイズと秘書行動」と題したユニークな発表をされました。1/Fノイズとは、川のせせらぎの流れのようになっていて、それが成功のリズムとあっていそう、秘書のあり方もこうでなければならないという

ことでした。大阪国際女子短大の油谷純子先生は精緻な調査をもとに「職場の敬語に関する実態——その意識と使用状況（アンケートによる）——」を発表されました。この分野の研究は、ほとんど手がついていないので、今後深めなければならぬ分野です。

関西女学院短大の仁平征次先生の「政策担当秘書（国会議員政策担当秘書）制度の報告」と題する発表で、本年1月1日から実施された「政策担当秘書」については、全く白紙の状態ですので、とくにおねがいして発表していただきました。

ティータイムの後、松山大会のブロック提言が「コミュニケーション能力」と「情報処理能力」ということですので、

2班に分かれて、分科会を行いました。

〔計報〕平成6年2月に田村欣二先生が、10月には叶野清先生がおなくなりになりました。

阪神大震災に際しては、各ブロックの方にご心配いただき、お電話などいただきましたが、阪神間の会員の方々は苦難にあわれたようですが、ご不幸はなかったようです。1月末現在、遠くに避難された方もあって十分な調査ができておりませんが、中間報告として申しあげておきます。各ブロックの方のご心配に感謝いたします。復興に向かっております。

（福永弘之 記）

中国・四国ブロック



1. ブロックの運営動向

8月5日、呉の「クレイトンベイホテル」にて運営委員会を開催し、10月実施のブロック研究会の日程や運営方法について討議したほか、来年度の運営委員の選出、平成7年6月に松山で開催される第14回全国大会などについて話し合いがもたれた。

2. 研究活動

第11回ブロック研究会は、平成6年10月22日（土）13:00～17:00、23日（日）9:00～12:00の両日、岡山市のホテルニューオカヤマを会場とし、川崎医療短期大学の岡田聚先生を中心に、同短期大学の先生方のご尽力により、47名もの参加者を得て開催された。1日目は従来どおり研究発表が行われたが、2日目は、新しい試みとして、来年度の全国大会にむけてのシンポジウム、さらには、総会も開催されるなど、一層充実したプログラムとなった。

——研究発表——（発表順・敬称略）

(1) 人間教育としての秘書教育

——専門学校における秘書実践報告——

石井 三恵

(2) 他科目間との接合や統合をめざして

——能力開発の触発を試みながら——

磯田 圭子（安田女子短期大学）

島田留美子（安田女子短期大学）

(3) 「秘書実務」担当者の資質についてII

磯部 恵

(4) 秘書実務教育の新提言

（学会助成金による研究中間発表）

今林 宏典（呉女子短期大学）

岡田 聚（川崎医療短期大学）

中村 寛志（瀬戸内短期大学）

◎三宅 耕三（香川短期大学）

山野 邦子（高松短期大学）

山本 慶子（高松短期大学）

渡辺 和枝（松山東雲短期大学）

(5) 広島女学院大学卒業生の就労実態に関する調査報告

篠原 収（広島女学院大学）

(6) 企業におけるOA機器導入について

西川三恵子（土佐女子短期大学）

(7) ドイツジャコバン派にみる秘書の役割

藤田 雅子（広島女子商短期大学）

(8) 人間関係管理

——米国経営管理における経営行動の展開——

堀 正久（四国大学）

(9) 秘書の本質に対する目的論的アプローチ

村上 哲大（土佐女子短期大学）

(10) 環境変化に起因する秘書教育の変容について

森 義直（香川県明善短期大学）

——シンポジウム——

シンポジウムでは、「能力開発をめぐる」のテーマのもと、吉田行宏先生（安田女子短期大学）を座長とし、パネリストの今林宏典先生（呉女子短期大学）・村上哲大先生（土佐女子短期大学）・山野邦子先生（高松短期大学）の提言をうけて、各グループでのグループディスカッションがもたれ、熱心な討議がなされた。

——総会——

総会では、平成5年度の事業報告・平成6年度の事業計画案・会計報告などが報告されたあと、ブロックリーダーの森貞俊二先生（松山東雲短期大学）より、第14回全国大会に関する説明があり、ブロック会員に対して、大会運営などについての協力要請がなされた。さらに、次期運営委員の構成案が提出され、全員これを了承した。

（渡辺和枝 記）



九州・沖縄ブロック



1. ブロックの運営動向

本年度の運営委員会において第13回全国大会(東京都)へのブロックからの提言者の決定、第16回ブロック研究会の発表者、第17回研究会の場所、日時、発表者、第18回研究会の場所、日時等を決定し、またブロック会報の編集・発行等を行った。

2. 研究会活動

— 第16回研究会 —

期 日：平成6年2月26日(土)

場 所：天神幸ビル(福岡市)

出席者：19名

田中友幸(福岡女子短期大学)ブロックリーダーの挨拶、事務局によるスケジュール説明の後、研究発表に移った。

國武英昭先生(株式会社大電)の司会により「国際経営学に於ける秘書の役割の一考察」というテーマで北原康司先生(佐賀女子短期大学)が、秘書業務の国際化について、単純な国内秘書学の把握のみならず国際秘書学の理解と対応が必要不可欠である、と発表を行った。

続いて光岡延幸先生(九州龍谷短期大学)の司会により「秘書理論に関しての一考察」と題して坂本一登先生(福岡女子短期大学)が、第12回全国大会での発表を受け、一般の組織人よりも秘書ははるかにアジェンダ能力が求められる、秘書はパイプ役とかフィルター的作用を果たしているという主張に対して疑問を呈した。

研究会最後の懇談会では、平成6年6月の第13回全国大会への「ブロックからの提言について」(提言者：井原伸允(香蘭女子短期大学))と題し、リーダーの司会により参加者からの提言を求めた。研究会終了後、福岡ガーデンパレスにおいて懇親会を開催し、参加者相互の親睦を深めた。

— 第17回研究会 —

期 日：平成6年10月15日(土)

場 所：釜山女子専門大学(釜山市)

出席者：29名(内日本側16名)

今回のブロック研究会は、佐賀女子短期大学の北原康司先生の多大なご尽力により釜山市にある釜山女子専門大学において開催することになった。研究会当日、釜山港からスクールバスにて専門大学の研究会会場に到着、茶道館にて昼食後、田中リーダー、釜山女子専門大学の秘書科科長、盧永相先生の挨拶につづいて、研究発表に移った。

初めに北原康司先生の司会、徐煥煥先生(釜山女子専門大学)の通訳により田中友幸先生が「日本における秘書教育の現状と課題」と題し発表した。主な点は、日本の秘書教育の流れ、日本秘書学会の概要、九州・沖縄ブロック研究会の活動状況、および日本の秘書教育の課題などである。

続いて北原、徐両先生の司会、通訳により盧永相先生が「韓国秘書教育の現状と課題」というテーマで、韓国の秘書教育の歴史、秘書科の設置状況、社会教育機関による秘書教育、韓国秘書学会、秘書教育カリキュラム等について発表しました。

研究発表に続いて、学内秘書教育関連施設の見学、学内にある茶道館見学および茶道師範の後、スクールバスにてレセプション会場に移動し、日韓の参加者相互の親睦を深めた。翌日は、慶州へのエクスカーションの後、釜山女子専門大学の先生方と秘書教育、秘書学について更なる懇談を行い、無事全日程が終了した。

(坂本一登 記)



平成6年度ブロックリーダー・

サブリーダーおよび運営委員

◎(リーダー) ○(サブリーダー)

【北海道】

◎白 川 智 洋(静修短期大学)
○乳 井 克 憲(静修短期大学)
北 崎 寛(静修短期大学)
丹 治 和 典(静修短期大学)
中 川 昌 代(道都大学短期大学部)
松 井 弘 子(北海道女子短期大学)

【関東・東北】

◎森 脇 道 子(産能短期大学)
○佐 藤 啓 子(常盤大学短期大学部)
○堀 江 光(城西大学女子短期大学部)
會 澤 まりえ(尚絅学院短期大学)
天 野 恒 男(東京家政学院短期大学)
大 風 戸 登(山形女子短期大学)
佐 藤 修 子(産能短期大学)
東 九 男(東京工芸大学女子短期大学部)
高 井 由喜雄(学校法人川口学園)
田 辺 稔(福島女子短期大学)
中 佐 古 勇(十文字学園女子短期大学)

畑 中 国 明
藤 田 利 久(川口短期大学)
本 幹 子(千葉経済短期大学)
村 善 美(東京経営短期大学)
矢 沢 園 子(津田スクール・オブ・ビジネス)
渡 辺 裕 一(産能短期大学)
堀 眞由美(産能短期大学)

【中部(東海・北陸)】

◎吉 田 寛 治(金沢女子短期大学)
○島 名 正 英(愛知女子短期大学)
○中 村 健 壽(静岡県立大学短期大学部)
岡 野 絹 枝(富山経済専門学校)
河 村 眞 澄(岡崎女子短期大学)
北 沢 克 輔(金城短期大学)
佐々木 伶 子(愛知学泉女子短期大学)
島 本 みどり(東邦学園短期大学)
清水 たま子(江南女子短期大学)
柴 山 正(名古屋女子大学短期大学部)
戸 昭 直(静岡県立情報処理工学センター)
中 野 千鶴子(仁愛女子短期大学)
水 口 美知子(名古屋女子文化短期大学)

【近畿】

◎堀 永 弘 之(兵庫県立姫路短期大学)
○緒 方 真 澄(平安女学院短期大学)
田 中 篤 子(松蔭女子学院短期大学)
宇都宮 穂(園田学園女子短期大学)
武 田 寿 子(大阪医療技術学園)
矢 野 智恵子(京都経営経理専門学校)
原 将 温(神戸学院女子短期大学)

【中国・四国】

◎森 貞 俊 二(松山東雲短期大学)
○岡 田 聚(川崎医療短期大学)
○三 宅 耕 三(香川短期大学)
胡 義 博(鈴峯女子短期大学)
篠 原 取(広島学院大学)

【九州・沖縄】

◎田 中 友 幸(福岡女子短期大学)
○北 原 康 司(佐賀女子短期大学)
伊志領 博 志(沖縄キリスト教短期大学)
坂 本 一 登(福岡女子短期大学)
室 井 廣 一(東筑紫短期大学)
花 崎 正 子(東筑紫短期大学)
光 岡 延 幸(福岡女子短期大学)

【ブロック研究会での研究発表一覧】

【北海道】

- 「ビジネス用文例の漢字の使用について」
乳井 克憲 (静修短期大学)
- 「秘書行動の環境適応の理論に関する試論」
浅川 修二 (北海道文教短期大学)
- 「海外研修で出会った女性の印象——ラサール・カレッジにみる秘書教育の一例との関連から——」
中川 昌代 (道都大学短期大学部)

【関東・東北】

- 「秘書と能力開発」
池内 健治 (産能短期大学)
- 「コミュニケーションと人間関係」
永田 照子 (東京工芸大学女子短期大学部)
- 「秘書と補佐役との補佐概念——補佐概念から見た秘書の本質・役割・機能・権限——」
高橋 光男 (聖徳大学短期大学部)
- 「秘書行為度と企業経営の関係」
菊川 長徳 (国士館短期大学)
- 「女性先駆者にみるキャリア形成」
牛島 光恵 (産能短期大学)
- 「秘書科における情報処理教育——大学等における一般情報教育の在り方を踏まえて——」
田辺 稔 (福島女子短期大学)
- 「日本の大企業における秘書の現状と問題点——上場企業アンケート調査に基づく調査分析——」
小池 澄男 (東京家政学院短期大学)
- 「秘書職に求められるコミュニケーション技法」
北垣日出子 (日本橋女子短期大学)
- 「言語運用能力：言語学的基础付け」
篠崎 一郎 (法政大学)
- 「女性労働の現状とキャリア」
大宮 智江 (高崎商科短期大学)
- 「アメリカのリーガルセクレタリー」
植竹由美子 (仙台白百合短期大学)
- 「秘書の資質特性の変化に関する因子分析」
四之宮玲子 (文理情報短期大学)
- 「秘書職における会計素養」
狩野 一久 (東京工芸大学女子短期大学部)
- 「キャリア30年、職場から教育の現場に直行した秘書が見たこと感じたこと」
馬越 道子 (湘北短期大学)
- 「秘書教育におけるプレゼンテーション技法の活用」
三村 善美 (東京経営短期大学)
- 「秘書と代理行動」
大橋進一郎 (城西大学女子短期大学部)

【中部 (東海・北陸)】

- 「秘書のパーソナリティに関する一考察——秘書学概論とのかかわりについて——」
國田千恵子 (金沢女子短期大学)
- 「富山県の女性の秘書業務についての調査」
澤本 正巳・金岡トモコ・深井 康子・安宅 昭子 (富山女子短期大学)
- 「エンドユーザーコンピューティングの進展と秘書情報教育」
戸田 昭直 (静岡県立情報処理教育センター)
- 「中国・宋代の『秘書』の一側面——翰林学士院について——」
中村 健壽 (静岡県立大学短期大学部)
- 「日本における礼の起源について」
柴山 正 (名古屋女子短期大学)
- 「秘書実務における交流分析の応用——対話分析理論に基づく接遇対話の授業展開例——」
菱田 陽子 (北陸学院短期大学)
- 野口喜美代 (富山コンピュータ専門学校)

【近畿】

- 「秘書機能の独自性についての一考察」

- 小原 将温 (神戸学院女子短期大学)
- 「企業・卒業生アンケート調査報告その2——秘書教育の視点から——」
仁平 章子他 (賢明女子学院短期大学)
- 「短大卒女性社員のキャリア育成に関する研究」
能勢 照代 (関西女学院短期大学)
- 「能力開発雑考」
宮崎 春男 (関西商工サービス)
- 「司法書士補助者の研究」
森本 敦司 (甲子園短期大学)
- 「秘書職の将来——ドイツの現状から——」
西原佐智子 (松蔭女子学院短期大学)
- 「1/Fノイズと秘書行動」
林 雄太郎 (大阪キリスト教短期大学)
- 「職場の敬語に関する実態——その意識と使用状況 (アンケートによる)——」
油谷 純子 (大阪国際女子短期大学)
- 「政策担当秘書 (国会議員政策担当秘書) 制度の報告」
仁平 征次 (関西女学院短期大学)

【中国・四国】

- 「人間教育としての秘書教育——専門学校における秘書実践報告——」
石井 三恵
- 「他科目間との接合や統合をめざして——能力開発の触発を試みながら——」
磯田 圭子・島田留美子 (安田女子短期大学)
- 「『秘書実務』担当者の資質についてII」
磯部 恵
- 「秘書実務教育の新提言」 (学会助成金による研究中間発表)
- 今林 宏典 (呉女子短期大学)
- 岡田 繁 (川崎医療短期大学)
- 中村 寛志 (瀬戸内短期大学)
- 三宅 耕三 (香川短期大学)
- 山野 邦子 (高松短期大学)
- 山本 慶子 (高松短期大学)
- 渡辺 和枝 (松山東雲短期大学)
- 「広島女学院大学卒業生の就労実態に関する調査報告」
篠原 収 (広島女学院大学)
- 「企業におけるOA機器導入について」
西川三恵子 (土佐女子短期大学)
- 「ドイツジャコバン派にみる秘書の役割」
藤田 雅子 (広島女子商短期大学)
- 「人間関係管理——米園経営管理における経営行動の展開——」
堀 正久 (四国大学)
- 「秘書の本質に対する目的論的アプローチ」
村上 哲大 (土佐女子短期大学)
- 「環境変化に起因する秘書教育の変容について」
森 義直 (香川県立明善短期大学)

【九州・沖縄】

- 「国際経営学に於ける秘書の役割の一考察」
北原 康司 (佐賀女子短期大学)
- 「秘書理論に関しての一考察」
坂本 一登 (福岡女子短期大学)
- 「日本における秘書教育の現状と課題」
田中 友幸 (福岡女子短期大学)
- 「韓国秘書教育の現況と課題」
盧 永相* (釜山女子専門大学)
- (※は非会員)

平成6年度入退会会員 (平成7年2月28日現在)

【新入会員 (正会員)】

- 前 原 節子 (岡山女子短期大学)
- 村 松 俊子 (常盤大学短期大学部)
- 滝 口 泰行 (常盤大学短期大学部)
- 安 田 美理佳 (静岡県立大学短期大学部)
- 中谷内 一也 (静岡県立大学短期大学部)
- 三 宅 純子 (群馬女子短期大学)
- 的 場 佳子 (日本会議学院)
- 山 本 一郎 (光華女子短期大学)
- 石 井 三恵 (広島外語専門学校)
- 馬 越 道子 (日本橋女子短期大学)
- 岩 城 正則 (鈴鹿国際大学)
- 渡 邊 佳奈子 (東京成徳短期大学)
- 瀧 信 定 (京都短期大学)
- 吉 田 由紀子 (名古屋聖徳短期大学)
- 野 明 人 (長崎短期大学)
- 大 江 寿美子 (進田スクールオブビジネス)
- 中 田 佳代子 (横浜外語ビジネスアカデミー)
- 北 川 直子 (カリタス女子短期大学)
- 南 村 博二 (大和證券)
- 中 村 将男 (早稲田速記秘書専門学校)
- 成 川 正 亮 (早稲田情報ビジネス専門学校)
- 高 久 信 一 (日本大学)
- 小 原 悦子 (名古屋ヒルトンホテル)
- 岩 下 爲 美 (府立福岡短期大学)
- 深 田 正 子 (広島YMCA国際ビジネス専門学校)
- 眞 田 弥 生 (金沢女子短期大学)
- 辻 典 子 (金沢女子短期大学)

- 石 井 真 美 (常盤会短期大学)
- 大 藤 吉 雄 (柳川フレ)
- 安 部 清 徳 (埼玉短期大学)
- 佐 藤 照 子 (埼玉短期大学)
- 木 村 通 治 (埼玉短期大学)

【新入会員 (研究会員)】

- 鈴 木 孝 枝 (浜松情報専門学校)
- 奥 田 栄 一朗 (香川短期大学)
- 鈴 木 和 也 (山梨県立吉田商業高等学校)

【退会会員 (個人会員)】

- 原 田 敦 子 (お茶の水スクールオブビジネス専門学校)
- 岩 森 龍 夫 (東京電機大学)
- 江 里 口 真由美 (東京工業大学)
- 戸 野 清 (聖泉短期大学)
- 小 山 大 雄 (産能短期大学)
- 岡 村 吉三郎 (日本経済短期大学)
- 兼 高 摩利子 (日本情報ビジネス専門学校)
- 岡 田 治 世 (横浜外語ビジネスアカデミー)
- 小 山 ムツコ (香蘭女子短期大学)
- 坂 元 宇 一郎 (丸紅パーソネルサポート㈱)
- 星 野 雅 子 (山形女子短期大学)
- 藤 戸 幹 夫 (土佐女子短期大学)
- 飯 野 恭 子
- 柳 田 恵 子 (平安女学院短期大学)

【退会会員 (賛助会員)】

- 新潟ビジネス専門学校